

血
血
郷
談

ふたりの巻

36

東 京 圖 書 館

和 書 門

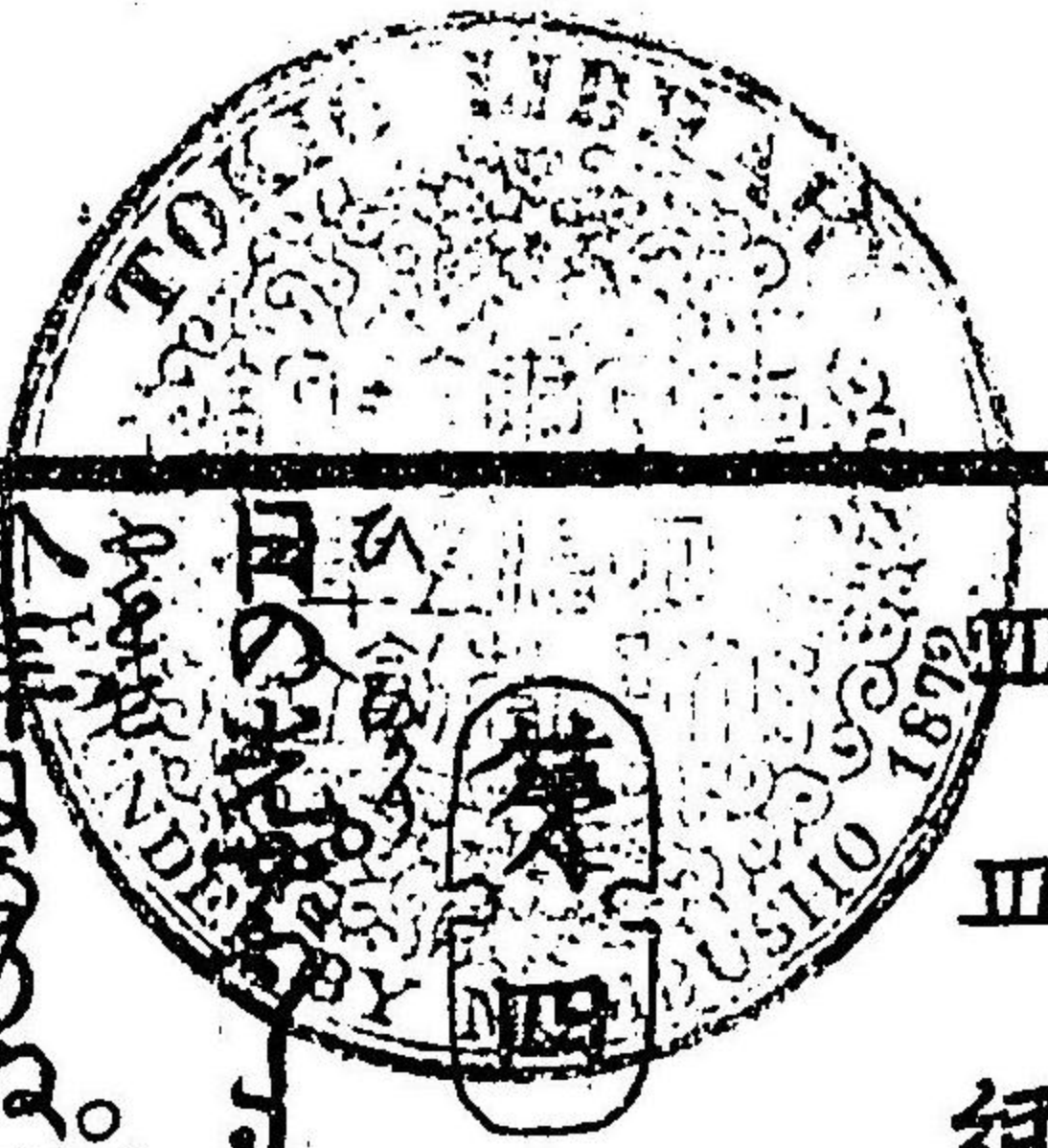
小 説 類

二 六 函

二 架

五 九 號

八 冊



郷談 卷之二

明治十年交換

東都 曲亭馬琴編演

頼光の盤切一擧

里見の重宝織月佳刀

日ノ暮ニテ... 却說唐猶素二郎... 徒橋氏の送歸... 君寵舊... 後ハ四時見...

知シテ難ク... 時ハ入義義ハおく... 叙ハ素大夫... 汝亦渠...

五ノ...

志とるのりあり。はる采地。珠とる。小東南の海濱。ある。其妻祖安房守義實朝臣
 安房の白濱へ推して。数入城と撃も。其基。我も。た多。ひ。も。其。人
 至。く。九。六。世。干。戈。も。た。く。も。止。り。た。り。も。剛。敵。我。前。は。受。く。他。郷。乃。通。路
 不。使。る。も。目。小。京。様。の。風。流。と。も。耳。は。敵。地。の。廣。陵。虚。実。我。等。推。く
 ろ。し。の。素。太。夫。我。獲。る。お。り。彼。桃。源。は。漢。と。晋。の。か。り。り。也。其
 た。も。と。初。と。や。る。心。地。と。も。加。旗。被。め。り。と。せ。た。り。前。つ。上。毛。野。も
 仁。田。山。も。我。の。軍。兵。我。破。ち。し。の。乃。の。素。肌。さ。り。と。一。个。所。の。法。義。の。儀。と
 船。娘。我。差。る。も。復。し。る。健。雄。之。視。管。領。は。仕。を。な。し。警。を。戦。い。と。り。え
 額。は。あ。る。古。海。の。勇。士。の。美。む。大。刀。痕。の。と。も。能。あ。る。香。の。爪。を。隠。し。と
 文。飾。ら。も。せ。と。澄。い。ど。瀟。瀟。辞。護。我。青。と。も。公。の。り。く。や。る。也。血。氣。が
 不。中。の。り。の。新。義。と。く。侮。ら。せ。渠。が。風。俗。は。傲。し。と。視。偷。の。り。と。せ。ん

素大夫の傍へ。願へ行かんとも。を。素。太。夫。の。里。見。殿。へ
 多。く。と。よ。り。の。十。年。と。滿。ち。と。代。實。生。の。丘。臣。と。同。僚。と。も。忌
 嫌。と。も。老。實。と。も。の。義。光。の。言。ひ。一。件。の。律。の。越。我。借。使。と。感。嘆。一。現
 彼。継。橋。素。太。夫。が。か。く。ま。ぐ。守。の。お。し。を。不。え。義。と。の。愛。し。た。り。の。あ。り。の
 幸。な。ら。む。佳。壻。我。招。む。も。妻。子。の。慶。福。と。も。く。と。喋。り。と。譽。め。の。め。り。
 始。と。も。あ。ら。む。と。り。の。言。聞。上。総。國。米。里。の。城。の。り。程。退。く。ら。ぬ。樞。葉。村。乃
 東。の。と。坂。と。市。場。と。唱。る。郷。の。官。柱。太。く。立。上。へ。り。ける。神。社。あり。の。の。郷
 我。守。め。り。坂。の。明。神。と。も。や。う。と。も。の。武。の。逆。の。神。の。の。身。力。雄。命。之。檜。皮。厚。く
 昔。の。り。の。鶏。尾。懸。魚。は。細。ユ。と。竭。一。朱。の。玉。籬。檼。の。雞。栖。注。進。引。し。と。神。の
 鄙。と。也。び。る。を。莊。觀。の。り。の。と。お。れ。の。毎。年。の。六。月。廿。七。日。と。止。六。日。於。宵。宮。と
 唱。る。里。神。樂。の。社。樂。あり。の。瓜。菰。等。我。供。物。と。も。す。り。不。受。地。子。と。稱。と。る。り。の

伊川坂戸。牛谷大崎。牛谷中野村。中嶋。五穀川。尻葛麻高柳。ささの二十个
 村。その中一村。彼のじじい。悪神。そのまじやう。もいさ。羊の
 祭祀。毎日。人身供。そのいけぬ。我。ゆ。ま。し。り。ひ。り。の。當。時。彼。二。三。村。集。會。て
 豫。て。儀。と。持。つ。犧。牲。は。せ。ら。る。た。その。儀。と。は。り。の。い。け。ぬ。は。俗。正。身
 しく。浄。衣。多。る。本。日。巫。祝。は。推。か。ら。る。坂。戸。の。神。祠。に。赴。き。巫。祝。件。の
 人身。師。供。我。巨。姐。の上。の。の。が。り。神。前。は。供。ぐ。王。禊。しく。氷。を。屠。刀。を
 見。し。莊。子。の。所。云。庖。人。が。丈。惠。君。の。面。前。あ。る。牛。豕。屠。小。異。さ。る。ま。若。姑。だ。て
 刀。と。奏。す。御。音。多。し。く。姐。我。敲。き。腹。より。脊。頂。より。跟。踵。の。あ。ら。う。ま。ま。に。我
 解。る。假。様。然。り。高。く。祝。詞。流。し。り。さ。し。く。き。り。と。さ。ら。る。その
 犧。人。三。年。が。間。の。か。の。い。け。ぬ。は。さ。ら。る。出。宗。あり。る。愚。俗。の。常。情。早
 む。と。時。を。事。止。す。ま。り。し。里。見。氏。安。房。は。死。す。と。上。怨。を。官。領。せ。り

羊。より。彼。犧。人。と。嚴。禁。あり。愚。民。と。論。あり。神。の。天。地。の。こ。ろ。人。の。天。地。の
 靈。物。な。り。か。の。あ。り。我。神。國。の。神。の。我。の。政治。の。第一。の。め。い。う。り。か。の
 政。の。多。か。ま。つ。て。と。訓。し。る。官。職。の。た。も。あり。神。祇。官。を。せ。れ。る。太。政
 官。の上。の。あり。あ。か。ん。ど。る。政治。の。神。の。い。ろ。ろ。と。其。我。長。久。の。制度。の。あ
 る。世。の。日。嗣。の。天。皇。の。神。胤。よ。ら。え。る。千。早。振。神。代。山。田。蛇。と。さ。え。ん。ん。
 人。我。毒。蛇。に。進。雄。尊。と。我。教。す。奇。稻。田。姫。我。取。り。出。雲。八。重。堰。味。も。
 この。天。神。地。祇。に。百。萬。の。い。け。ぬ。は。り。の。神。の。國。民。を。血。金。を。り。た。と。さ。る
 あり。天地。の。仁。義。の。淵。源。より。神。祇。に。宿。り。地。祇。に。宿。り。出。づ。り。と。さ。る。本。に。の
 神。在。る。い。け。ぬ。は。り。の。人。我。誓。じ。た。ら。ん。山。田。蛇。の。い。け。ぬ。は。り。の。陽。の。ま。は。る。神
 威。の。假。托。に。ゆ。め。の。利。を。謀。る。生。巫。現。わ。が。を。根。と。す。愚。俗。我。恐。く。毒。な
 流。れ。の。ち。の。剣。あり。い。け。ぬ。は。り。の。我。忍。る。山。田。蛇。の。い。け。ぬ。は。り。の。い。け。ぬ。は。り。を。全。す。る。

ち前より、義孝の使者、深夜の使者、
 一條の丘曾、金剛神、美阿の夜、
 引剥と大崎伊川の村長、報知、
 懐我、假我、神體佛像の強盜、
 中情由あり、浮城の神、
 怪我、日我、金銀、
 時綱、金剛神の虚実、
 本像、假托、
 知りぬ、今宵の使者、
 懐我、頼光朝臣、

のりけ、須弥の四天、
 遣、比治、
 刀と藉、綱、
 女、撞見、
 世、
 宝の刀、
 満月、
 靴の銀、
 重宝、
 は、佩、
 刺、

欠

MISSING

領下りしひの素大夫君恩身もあましく。同日又た遊どりのうら。底心はの面もて

紅血をとり復るといひ。そのまもあつて。只一個の雜兵が静まりて

寔は怪我の功名あり加之津國なる。厄崎の戦ひは面舞を受つて入物に

さういふ。今宵の使者の擇とて。當らぬといふ。いふ。武家侍俵様

食する。明と地よりいひを釋き。驚く。いと。樂ま。給ど。かくて止る。と

蕉火照る。主後七人。速く。浦田の城戸と走り。坂戸市場で投て。あ

夜もや子母の比及なり。夏る。不室。早稲田の風。麻夜の被衣。あ

月夜も。いふ。いふ。野千玉の鳥夜も。後。いふ。心地。いふ。彼変化

物。然と疑ひ。暗鬼と安危。歩の運びも定め。路傍の草。痛む。

夜露の玉と踏碎け。いひ。いひ。群立。螢火。素大夫。阿と叫び

退去。後者。その声。客忤。目前。お散る。螢火。いふ。左夜。被衣

退る。いひ。いひ。物。は。作。摩。河。多。いひ。叫び。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。素大夫。眼。眼。眼。左夜。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

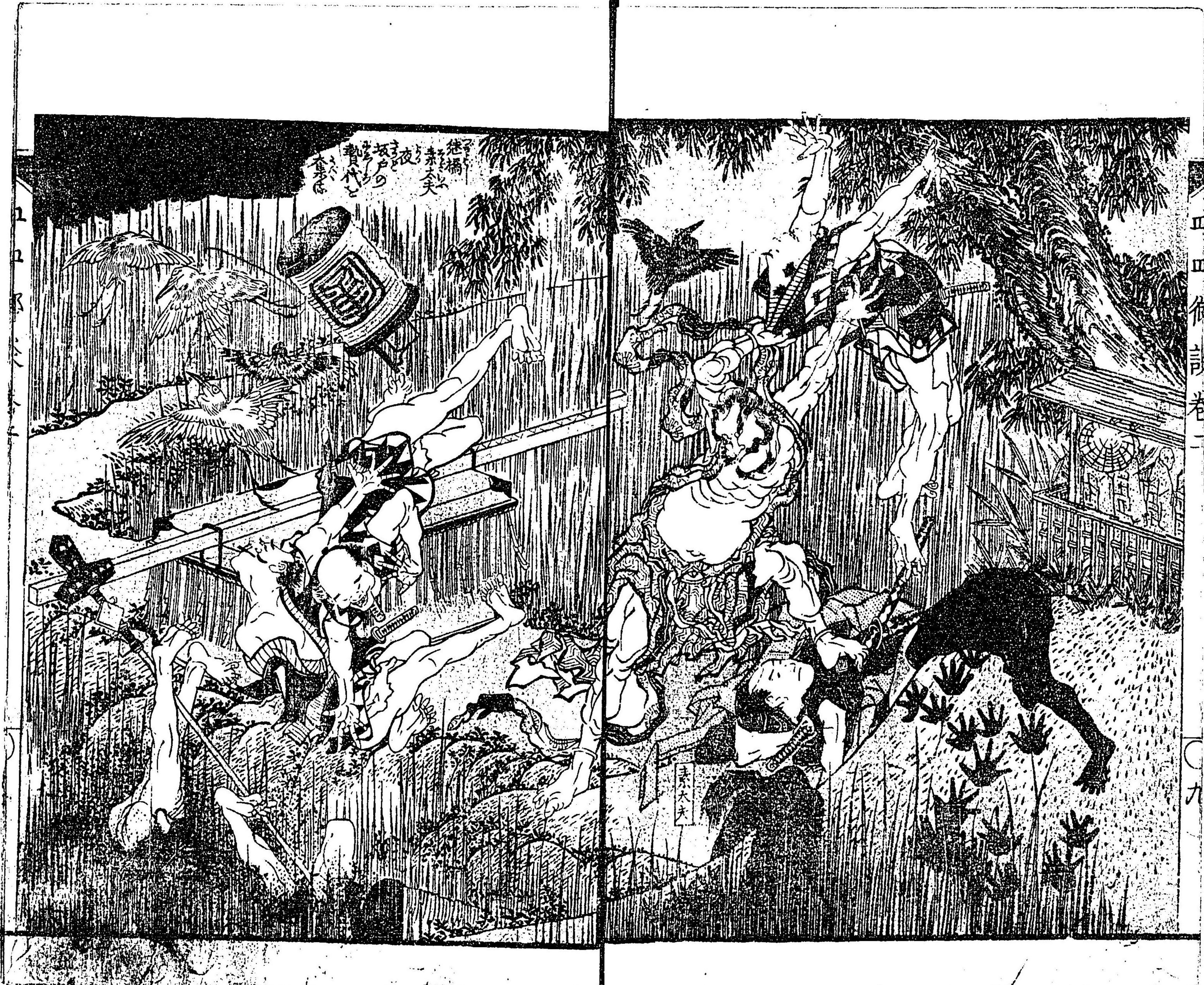
いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ

行城城ひあを喘ぐ。後よ坂東道一里二野二十里あり。ちちあつふんとあはれ三の
 殘音もたなり。てまより坂へまきこもあふほど急ぐ。三声うけ。田中九相真珠
 した。一叢烏き二里塚のちちりふ立在のありたり。しづむるの秋を素大夫の
 且蕉火抗たごとく。主後適よこも飛んる。そのののせとく鬼形は類く。
 赤死と朱の如く。殺の針とさる。頂は螺髻。紆ね虎髯。左右み逆ぶらて。
 眼は百練の鏡。ひびく。瞳の光散徹く。たま碎やく電の稲妻と照る。まふ
 異ふく。賈のあつらひあやうびる。草衣と着る。あまのく。足も
 ついどか痛高く起す。周防州ありとふ巨草魚の胎を疑ふ。妖怪の
 こまふて。世の風聞の空うて。現發ゆる。二王に似たり。進むる。く
 危く。横まらふ。さく。降る。脱んぎ。あせはと素大夫を
 刀の鞘よ。さく。り。さ。只立ま。く。樹さ。ま。さ。か。の。如。く

女隸も進退途我失く。肌膚も毛とひく。鶏のてく。送る
 面然のり。果敢とま。わ。お。そ。が。中。み。只。一。人。蕉。火。を。照。る
 孝く。先。は。平。奴。隸。の。短。暗。る。ま。奴。物。の。彼。知。は。せ。残。り。ま。い。ん。ず。蛇。は
 怖る。警者のてく。ま。ま。び。る。く。や。殺。は。衆。皆。短。暗。は。意。を。つ。つ。す。
 こ。こ。が。勇。力。氣。は。激。な。ま。ま。く。お。そ。る。く。跡。は。跟。き。お。の。く。日。来。志。ま。神。明
 仏陀を念ん。三。及。あ。ま。り。進。く。彼。妖。物。の。ま。ま。と。嘯。く。臆。の。て。く
 走。ま。ま。の。先。は。ま。ま。の。奴。隸。が。項。髪。搔。抓。を。操。向。く。水。田。へ。水。を。投。り
 け。ま。ま。全。軀。へ。泥。小。掘。埋。ま。ま。稻。葉。の。間。は。頸。の。ま。ま。え。り。ま。ま。蕉。火。を
 遙。は。お。く。畔。の。夏。草。は。燃。く。つ。ら。ぬ。か。く。て。ま。誰。う。脱。る。ま。ま。の。り。共。お
 死。ま。ま。と。後。方。より。声。あ。り。絞。る。素。大。夫。は。傲。こ。こ。戦。國。の。習。俗。と。奴。隸。を
 流。石。は。駭。知。り。け。ん。遠。く。樞。を。叩。く。或。は。懸。杖。を。肉。し。或。は。恒。刀。を。引



継子 赤太夫
坂戸 賢代
赤太夫

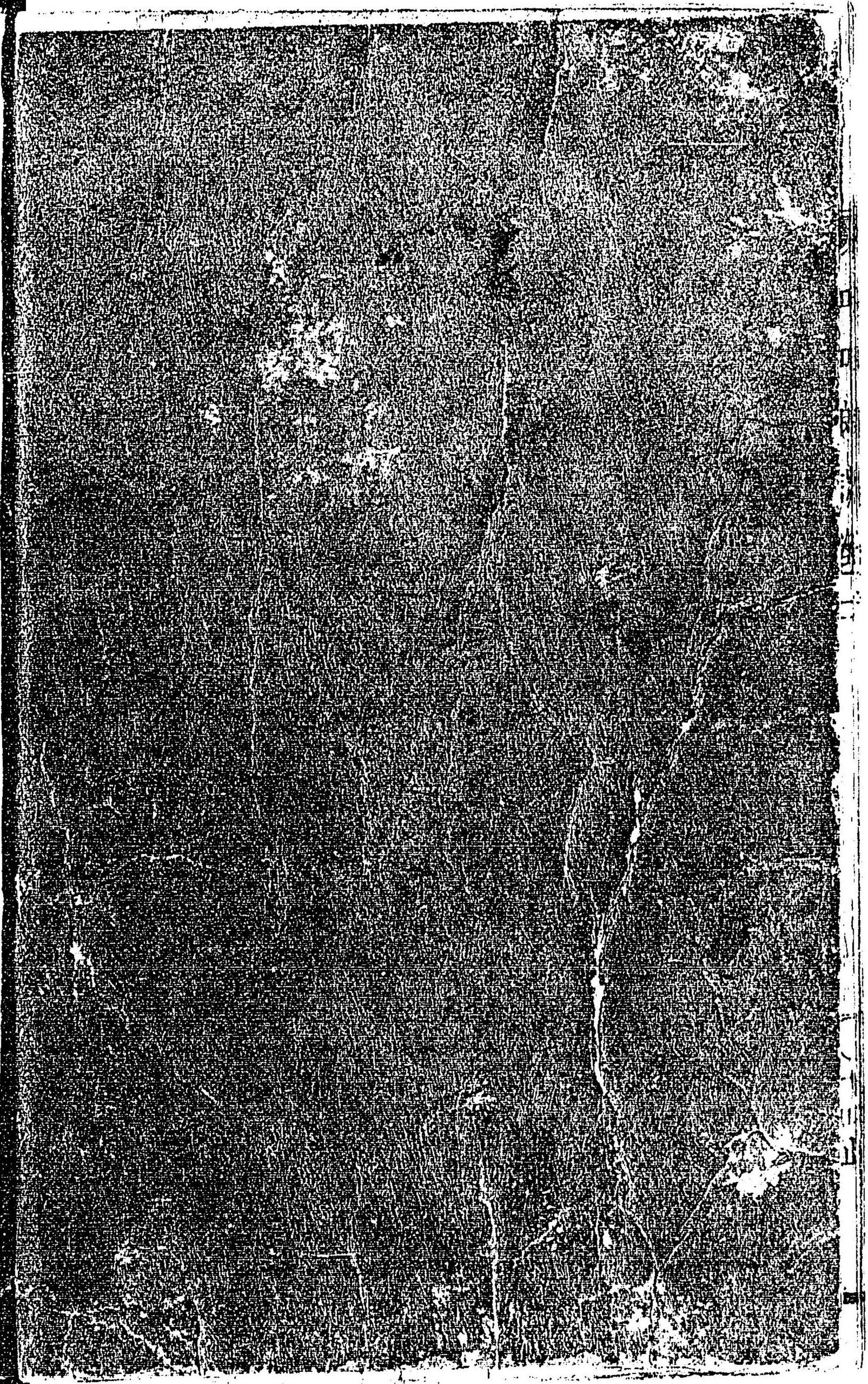
赤太夫

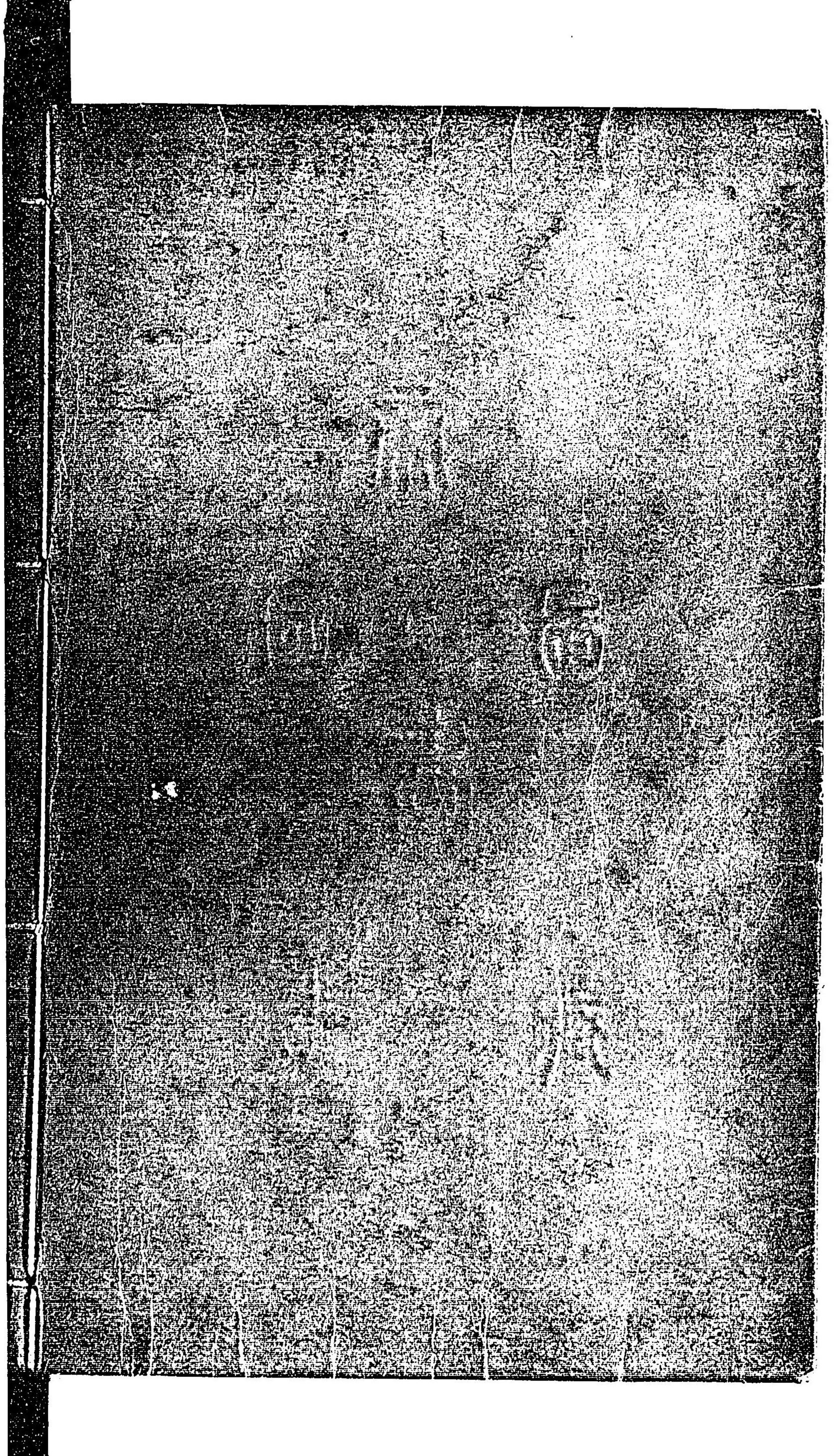
擲且く挑戦ひか素大夫の戦慄く主後遂に一致せし緯の難儀はあつて
 此の事実なるであらんやその罪ゆへに輕うらむと後園の折戸開き素
 大夫を引寄せむづろ者奴を鞠回し鎌倉親治を打し新刃の力と武
 せんごうとと焦燥の苗頃お監小藤とて先かん憤りあつて
 泣き泣きの涙下り推しやりかたきともの嗚呼するものと知召さど
 ヤリ使者或仰付らと刺鐵月形のおん佩刀と預下さし素大夫との
 罪と罪しとくかん討つるるが一團の兵撃たれまひて却君を獲
 へ今ころこの思意とさうさび刑罰我實しく且く渠を助けあつて
 室刀の往方とらげ移束めりおむらせりと命にありそのいびの命を捨
 てもす功とさびらんやかて妖怪のさ偽顯と室刀とさびおんいびの君の
 目ごのいびらせめりと續りまういびのさなく忠告を死せし果右進つて選

噴もらみお終せざぶ公私の幸ひけしは寛仁大度へ固るるとる何穩
 便の御沙汰を願しくいへくおそく練やうせ義亮此怒をさきりて
 跡もも監と退らせ曲録の類杖衝て再て深念への折正木時彌やわり
 ちるべき先端然と居るありとほり近く召しせし素大夫なる体
 苗頃を練一絶首とつて妖流さうせ汝はこれと何とらと密やうは問
 のへ時綱要時頭と傾け彼苗頃お監の素大夫が其答敵めく親しく
 支参りのめかむ君の面を犯しく練やうせ一底意見員の沙汰よ
 似しととも公道の親疎は今お監がまうせ一條素大夫が人の
 ろうとて第一君のおんぬのいんやとて賢慮はなむべうと金剛
 神の妖怪はその真偽が糾める某賈母は殿兵と知某も又そのい
 みづろ春路とら巡りその在所と探しおほりとるいひお此夜

これらの真偽を探索せり。その夜の賊とあり。あつた。さひらつ。功
 多く。良人の罪を貸入。とせ。これより。捷徑あり。夫婦。過世の悪業あり。
 みる。うら。作ら。藤の。継橋の。み。後果。成。いと。浅。なる。女子の。智慧。よ。り。
 魚。死。と。う。り。後。ど。み。成。又。つ。敗。を。俟。君の。為。め。不。忠。之。家の。為。め。不。孝。之。
 う。いて。や。み。こ。ら。へ。男。女。と。ぬ。う。ら。や。う。ぐ。子。と。奉。の。人。と。親。よ。月。ど。ち。あ。え。か。あ。の
 功。徳。も。わ。く。流。矢。は。命。を。隕。残。る。吾。侍。へ。憑。り。か。ら。ぬ。ま。み。を。我。倒。さ。る。それ。を
 う。う。め。道。道。ら。だ。い。う。い。う。と。ま。の。ま。の。と。神。は。仏。も。旦。暮。は。祈。は。信。を
 家の。あ。女。目。を。あ。い。う。合。を。受。父。親。の。冥。魂。も。あ。い。れ。と。受。つ。祐。け。の。い。や。や。
 さて。あ。い。せん。と。う。う。ら。み。怜。れ。れ。れ。の。身。は。遍。る。白。月。の。糸。れ。と。釋。つ。て。入。目
 ろ。あ。れ。は。う。と。は。声。次。の。向。へ。の。え。え。え。出。居。の。簾。推。揚。で。落。や。起。り。ぬ。ひ。と。同
 と。維。と。え。え。が。譜。代。の。老。僕。丁。せ。之。當。下。丁。せ。の。近。く。小。膝。と。衝。へ。や。や。う。次。巻。へ

122
8
36





122
8
36

血
血
郷
談

本
欠へ-ジ
P. 5の前半~
P. 6の後半
58. 5. 31

子